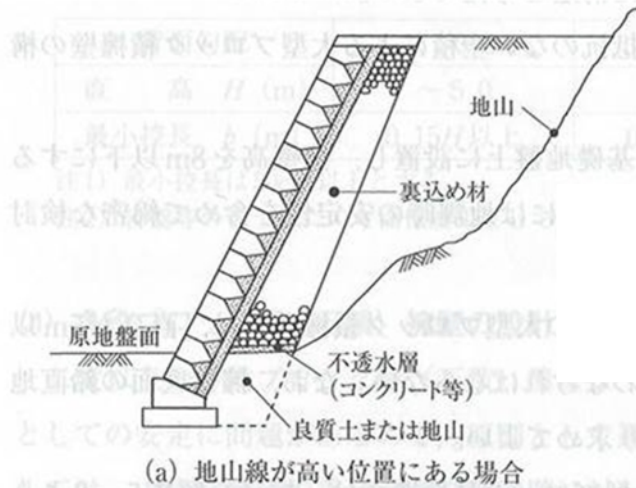


不透水層

道路土工 擁壁工指針(H24) 財団法人 日本道路協会



裏込め材は、解図5-36(a)のように基礎周辺部に背面地盤からの水の浸透による悪影響が及ばないように、擁壁前面の地山線程度まで設置することを原則とし、裏込め材の直下から基礎コンクリート底面までの間には不透水層等を設置することが望ましい。

ハイウォールは、“土”構造物です。背面水等にはコンクリートブロック擁壁よりも影響が大きい場合があります。従って、ハイウォールでは必要な個所には、擁壁工指針に則り下図の不透水層の施工が必要です。

不透水層はハイウォール全幅+背面地山まで(積算では20cm程度)をコンクリート/モルタル 5cmを標準とします。

